

**目指す子ども像「くすのき」**

「くじけずしなやかな子ども」（思考力・自己効力感）…しなやかに適応し心のおれない子ども  
「すすんで学ぶ子ども」（意欲・主体性）…主体的に学習を進める子ども  
「のんびりと共に活動する子ども」（協力・思いやり）…穏やかに共に認め合う子ども  
「きまりを守る子ども」（規律・規範）…自律し、規律ある行動ができる子ども

**学校経営方針**

- 1 一人一人を徹底的に大切にし、子どもが安全で安心して過ごせる学校づくりを進める。
- 2 基礎・基本の定着を徹底するとともに、子どもが主体的に考える授業づくりを進める。
- 3 一人一人のちがいを認め合い、共に生きることの大切さを学ぶ学級づくりを進める。
- 4 家庭・地域との連携を図り、地域ぐるみの学校づくりを進める。

**取組の重点****1 一人一人を徹底的に大切にし、子どもが安全で安心して過ごせる学校づくり**

- ・子どもの命、心と体を守り育む意識を高くもつ体制づくりと心と体を大切にする子どもを育てる。
- ・子どもの内面から発せられる様々な声に耳を傾け寄り添い続ける。
- ・人権についての認識を深め、違いを認めいじめを許さない意識と態度を育てる取組を充実する。
- ・道徳教育、特別活動、総合的な学習の時間等の様々な体験活動を通して、人と人との絆の大切さを実感し規律ある生活習慣やきまりを守る態度を育成する。「みそあじ あはは」  
「み」…身支度を心がける（準備・心構え）、「そ」…掃除を頑張る（協力・責任）,  
「あ」…あいさつをする（コミュニケーション）、「じ」…時間を守る（約束・きまり）  
「あ」…朝ごはん、「は」…早ね、「は」…早起き

**2 基礎・基本の定着と子どもが主体的に学ぶ授業づくり**

- ・読書活動や計算・漢字など学力の基盤となる力を確かなものにする取組の充実を図る。
- ・すべての教科において、学習課題（めあて・目標）の提示と学習の振り返りがいつも適切であるかを省察し、子ども同士の学び合いを充実させ、学び方の定着を図る。
- ・主体的・対話的な学びを重視し「学ぶ楽しさ」「わかる喜び」が実感できる授業改善に努める。その中で学校図書館の効果的な活用も工夫する。
- ・体育科の研究を通して、運動特性に浸らせ、運動に主体的に取り組み、自他の体力と健康の保持増進や回復、疾病のリスク軽減を図ろうとする子どもを育てる。
- ・子どもが自らの課題に気付き、計画的な家庭学習の定着を図り、自学自習の習慣化を目指す。

**3 一人一人のちがいを認め合い、共に生きることの大切さを学ぶ学級づくり**

- ・自尊感情を高める取組の中で、互いに認め合い高め合う集団と子ども同士の絆づくりを支援する。
- ・支援の必要な子どもに配慮した学習環境、授業と学級づくりを進める。（ユニバーサルデザイン化）
- ・担任だけでなく校内委員会を通して、LD等通級教室担当者、関係機関との連携を密にし、一人一人の教育的ニーズを把握し、支援の方法や個に応じた指導の工夫をする。

**4 地域ぐるみの学校づくり**

- ・学校運営協議会を中心として、ボランティア組織と一体となった学校運営を推進する。
- ・地域との協力体制を深め、感謝する心、自ら律する力を育てる。
- ・地域行事に積極的に参加し、子どもを育てるための学校・家庭・地域の連携を深める。

＜目指す学校像＞

- ・安心、安全で健康な学校生活が送れる学校
- ・笑顔で過ごせる学校
- ・整理整頓が行き届き、学ぶ環境が整った学校
- ・一人一人に届く授業で、子どもの力を伸ばす学校

＜目指す教職員像＞

- ・目標を共有し、組織的に取り組む教職員
- ・子どもに寄り添い、保護者・地域と共に歩む教職員
- ・授業の改善と指導力の向上の意欲をもち、実践し行動する教職員
- ・ワークライフバランスを保ち、健康に仕事をする教職員

## 学習環境 づくり

- ・穏やかに過ごせる
- ・落ち着いて過ごせる
- ・心の居場所づくり
- ・総合育成支援教育
- ・生徒指導
- ・規範意識の醸成
- ・「みそあじ」の徹底
- ・学習環境の整備
- ・読書活動の充実
- ・ジョイフルタイム
- ・ゴーゴータイム

## わかる授業 できる授業

- ・授業改善
  - ・すすんで学ぶ授業
  - ・学び合う授業
  - ・考える授業
  - ・校内研究の取組
  - ・教材研究
  - ・授業研究
  - ・語彙力
  - ・コミュニケーション力
  - ・言語活動の充実
- ジョイントプログラム  
全国学力学習状況調査

学力向上

共に高め合う  
学習集団

健康・安全な学校生活